

アンダーシンク型電解水素水整水器  
連続生成型

# プラチナ美ウォーター

PLATINUM BEAUTY WATER

## アンダーシンク 工事説明書



お客様に満足して使用いただくために、この工事説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願いします。  
配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市町村の条例規定に準じておこなってください。  
※本製品の取り付けには、部品をキッチンに取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。又電気工事が必要な場合があります。（シンク下にアース端子付きコンセントがない場合）  
※配管工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの工事説明書を確認にお渡しいただき配管工事を依頼してください。

**Diana**  
Solution for Life

### 警告

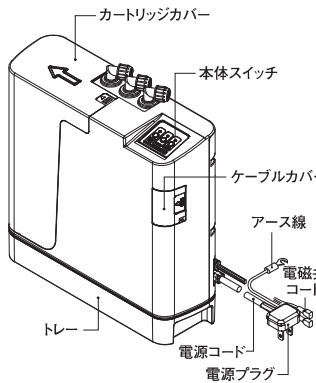
⊘	飲用不適な水は使わないでください。体調を損なう原因となります。地下水などを使用する場合は飲用適であることをご確認ください。
	湿気の多いところに取り付けしないでください。また、水をかけたり、水中で洗ったりしないでください。感電・火災の原因となります。
	アース端子付きコンセントで、アース線を必ず接続してください。アース端子が無い場合は、アース（接地）工事を必ず行ってください。接続しない場合は、感電や落雷による故障の原因となることがあります。

### 注意

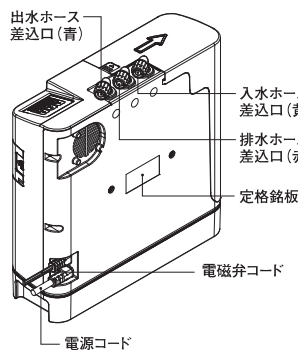
⊘	本体は水平な位置になるように設置してください。台の上や傾いたところ等、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたり、故障やけがの原因となることがあります。
	直接日光が当たる場所やコンロ、湯沸し器等、発熱する物の近くには設置しないでください。ケースの変形や故障の原因となることがあります。
	本体の上に物を置かないでください。故障又は事故の原因となることがあります。
	ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。水漏れの原因となることがあります。
⊘	表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧では使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
	電源コードをステーブル等で固定することはおやめください。電源コードが破損し、感電・火災の原因となることがあります。
	電源コードを傷つけたり、束ねたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが損傷し、感電・火災の原因となることがあります。
	タコ足配線はおやめください。発熱し、感電・火災の原因となることがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みかゝゆるいときは、使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

### 各部の名称

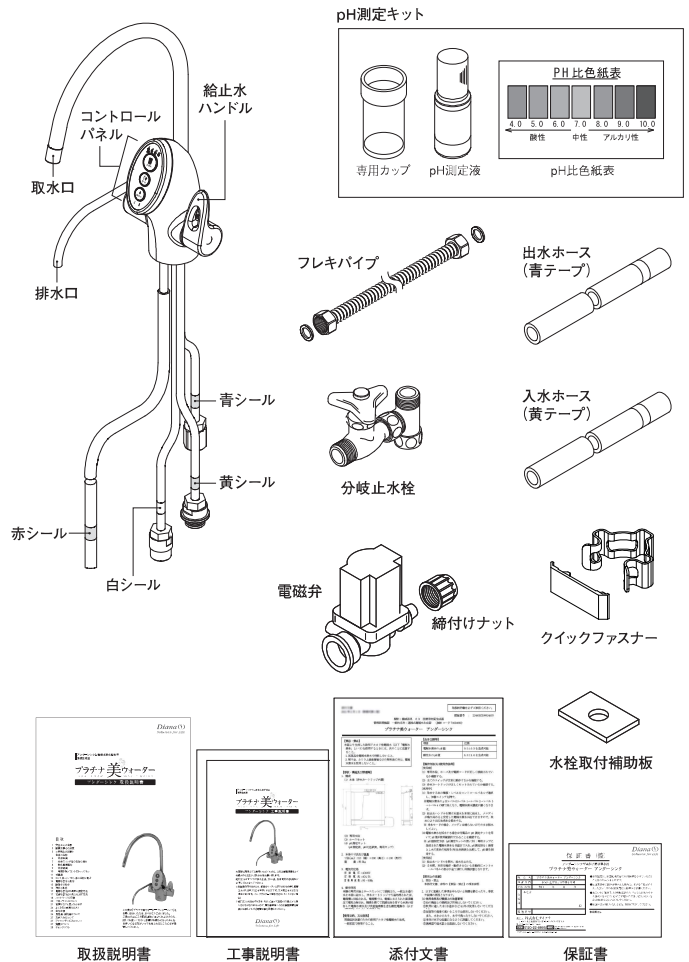
#### 【本体正面】



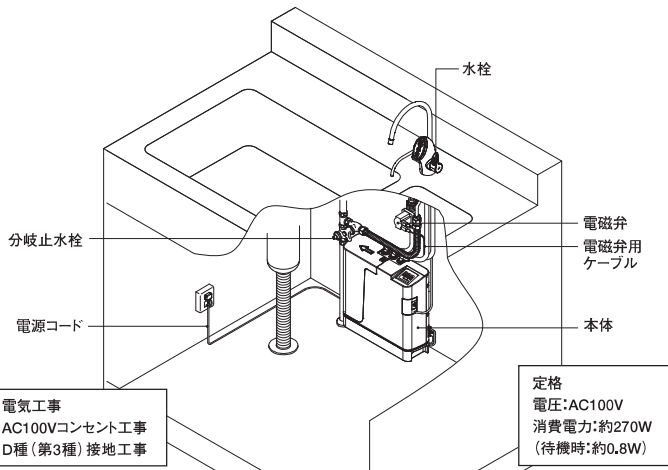
#### 【本体背面】



### 付属品



### 施工図



## 設置作業前の確認

### 水栓の取り付け位置の確認

必ずお客様とご相談のうえ決めてください。

### 本体設置位置の確認

水栓の取り付け位置とホースの長さおよび浄水カートリッジ交換が容易な位置を考慮し、必ずお客様とご相談のうえ決めてください。  
昇降式のキャビネットがあるときは、水栓の可動部が接触しないことを確認し、水栓を設置してください。水栓の取水パイプの首振り角度は115度です。

### 注意

接続コードの結線を行う際、本体のコネクタ部が確認できる位置に器械を移動させ、作業を行ってください。

コネクタへの差し込みが不十分ですと電磁弁が働かず水が出なくなります。また、動作不良の原因となりますので差し込み後は必ず確認をしてください。

本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。

通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 取付手順

### 1 専用止水栓取付け穴の加工

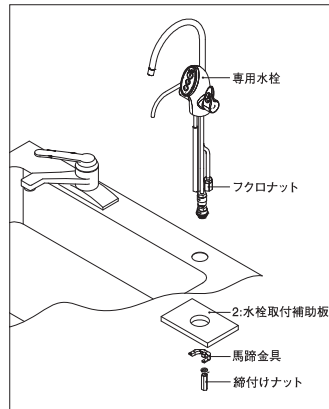
シンクの天板にφ36~φ38の穴をあけてください。

### 注意

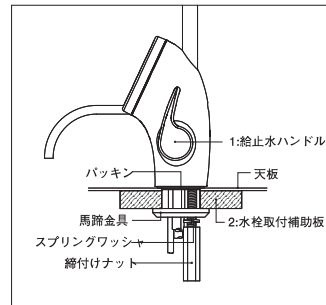
水栓本体を固定する前に取付け穴周囲の汚れを取り除いてください。

### 2 専用止水栓の取付け

取り付け前に専用止水栓から締付けナット・スプリングワッシャー・馬蹄金具を取り外します。さらに青地に「↑」マーキングの色別シールが貼られた水栓パイプのフクロナットを取り外してください。



専用止水栓をパイプに注意して穴に差し込みます。馬蹄金具・スプリングワッシャー・締付けナットの順に組み付けて仮固定してください。水栓の位置を確認して締付けナットを締付けてください。締付けにはソケットレンチ(13mm)をご使用ください。



### 注意

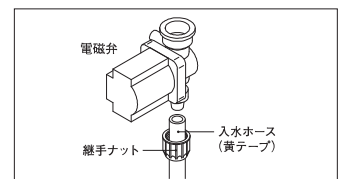
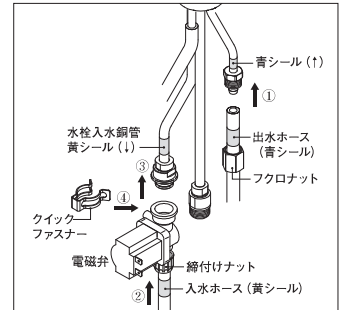
- 水栓レバーは「閉」の位置(レバー：縦)にしてください。
- シンクの天板が薄い(裏板が無い)場合は、水栓が斜めに傾いてしまう場合があります。この場合、付属の水栓取付補助板を天板の下に入れ馬蹄金具で固定してください。(水栓取付補助板のサイズ：寸法 60×150mm・穴径φ37)  
流し台によっては加工が必要な場合があります。ご注意ください。
- 天板の厚さの対応範囲は45mmまでです。  
※水栓取付補助板は、シンクの天板が薄い場合にご使用ください。締付けナットが取付けられないことがあります。

### 注意

締付けナットの締付けは確実に行うこと。しっかり締付けられていないと、水栓が緩んだり、がたつきが発生し、水漏れの原因となります。

## 3 接続ホースと電磁弁の取付け

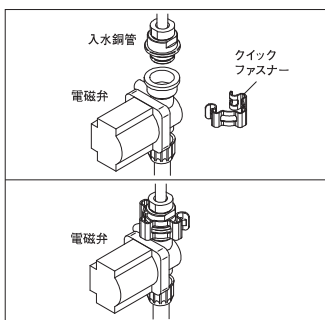
- 水栓パイプ(青シール)のフクロナットを取外し出水ホースに取付けパイプに差し込んでナットを締め込んでください。必ずシールの色を合わせてください。
- 電磁弁から締付けナットを外し、入水ホースに差し込みます。電磁弁に入水ホース(黄テープ)を差し込み、締付けナットを締め込んでください。



### 注意

締付けが不十分ですと、水漏れの原因となります。

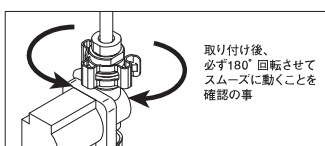
- 入水銅管継手のツバと電磁弁継手のツバが隙間なく合うまで差し込んでください。クイックファスナーを入水銅管のツバと電磁弁のツバにはめます。ホースを引っ張って外れないことを確認します。



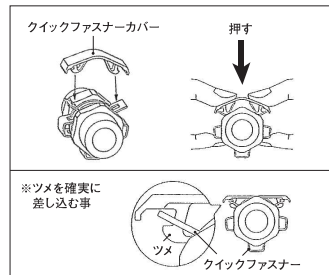
### 注意

取り付けが不十分ですと、水漏れの原因となります。

- 差し込んだクイックファスナーを左右に動かして取付状態を確認してください。動きが悪いと正しく装着されていない場合があります。一度クイックファスナーを取り外しやり直してください。再度スムーズに動くことを確認してください。

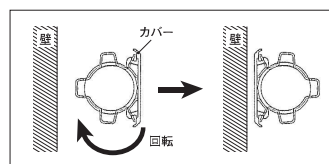


- クイックファスナーカバー(オレンジ色)をクイックファスナーの穴に押し込み装着してください。この時、カバーを引っ張っても簡単に外れないこと。



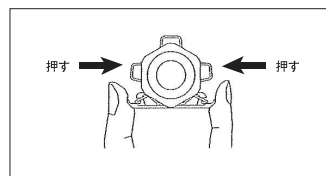
### 注意

クイックファスナーカバーの欠落防止のため、カバーの位置を壁側に動かしてください。

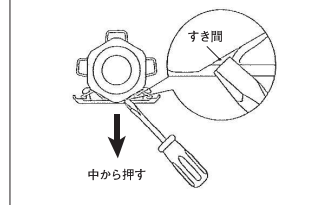


### クイックファスナーカバーの取り外し方法

クイックファスナーカバー(オレンジ色)の両側から内側に押し外れます。外しにくい場合は、継手とクイックファスナーのすき間にドライバー等を差し込み中側から押し出すと外れます。



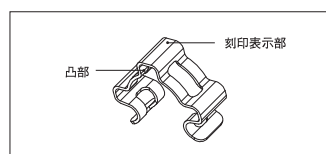
外しにくい場合



### 注意

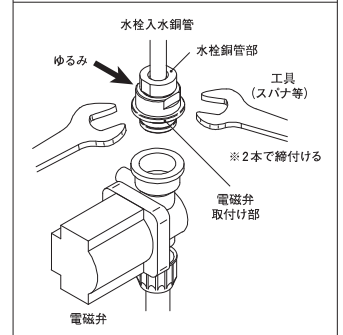
クイックファスナーを外す際は、クイックファスナーが飛んで怪我をする恐れがありますのでご注意ください。

※クイックファスナーが外しにくい場合は、刻印表示部の凸部にドライバー等を差し込んで引き抜いてください。



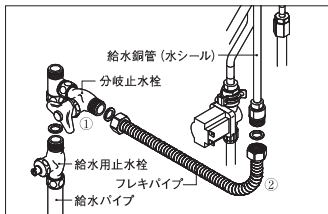
### 注意

電磁弁取付け部が輸送中の振動等により緩んでしまう場合があります。水栓をシンクに取り付ける前に確認作業をお願いします。緩んでいる場合は、水漏れしますので工具を使い締付けてください。  
※設置後の電磁弁動作確認時に、水漏れチェックをお願いします。



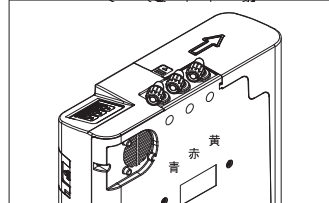
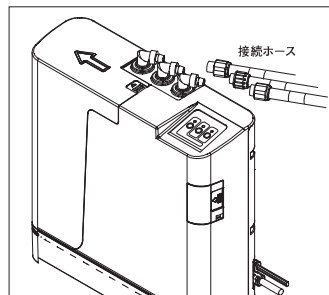
#### 4 分岐止水栓とフレキパイプの取付け

- ① 給水用止水栓と給水パイプの接続を取外し、間に分岐止水栓を取付けてください。
  - ② 分岐止水栓と給水銅管(水シール)をフレキパイプで接続してください。この時、フレキパイプに無理な力が加からないような形状に曲げてください。
- 確認事項: 水圧は0.05~0.7MPa以内である事を確認してください。もし、0.7MPa以上の場合は、減圧弁を取付け対応してください。



#### 5 本体とホースの接続

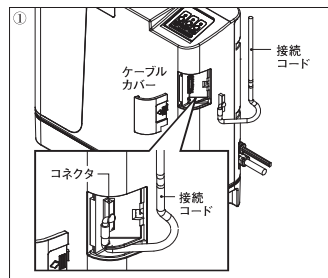
水栓に取付けられた3本のホースを本体の差込口に接続します。接続は、差込口から継手ナットを外し、外した継手ナットをホースに差し込みます。本体背面の色別シールの色(青・赤・黄)とホースに巻かれたテープ色(青・赤・黄)を合わせて、各ホースを差込口に奥まで差し込みます。継手ナットをしっかりと締めてください。



**注意**  
ホースを引っ張って外れないことを確認します。水漏れの原因になる恐れがあります。

#### 6 接続コードの結線

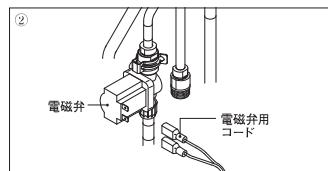
① 水栓の下から出ている接続コードのコネクタを本体に接続します。本体右側のケーブルカバーを外し接続コードのコネクタを接続します。ケーブルカバーで蓋をします。



**注意**  
コネクタピンに曲がりがないか確認し、確実に差し込んでください。水が出なくなったり、動作不良の原因となります。

② 本体背面から出ている電磁弁コードを電磁弁に接続します。

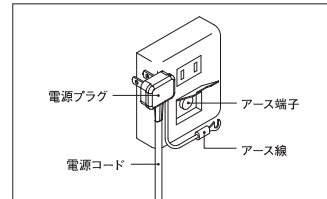
極性	電磁弁端子	コードの色
プラス	白マーク	白
マイナス	-	黒



**注意**  
コードの接続は確実に行ってください。電磁弁の接続(プラス/マイナス)を間違えた場合は、水が出ません。

#### 7 アース線・電源コードの接続

電源プラグに付いているアース線をコンセントのアース端子に必ず接続してください。



電源プラグをコンセントに接続します。

**注意**  
アース端子付きコンセントで、アース線を必ず接続してください。アース端子が無い場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。接続しない場合は、感電や落雷による故障の原因となることがあります。

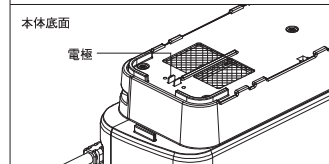
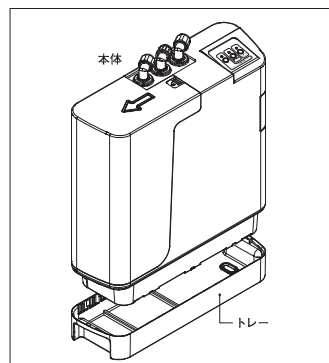
#### 取付後の確認

- ① 電源の確認  
専用水栓の電解水素水・浄水・酸性水スイッチを順に押しランプの照光を確認してください。
- ② 水漏れの有無の確認  
分岐止水栓の止水栓、専用水栓の給止水ハンドルをあげて通水(5分以上)し、各部の水漏れが無いことを確認してください。

**注意**  
トレーは必ず本体にセットしてください。カートリッジ交換時に出た水を受けるものです。また、水漏れが発生した場合に水を受け水漏れを感知します。

#### 電磁弁の動作確認

- 本体からトレーを外し底面にある電極の相互間をショート(5秒以上)します。(マイナスドライバー等で)表示ランプが全点滅するとブザーが鳴り電磁弁が閉じます。給止水ハンドルを開き水の出ないことを確認します。(確認後、必ず給止水ハンドルを閉じてください。)
- リセットするには、電源プラグをコンセントから外して約15秒待って再度コンセントに電源プラグを差してください。ブザーが止まり、表示ランプが消灯したことを確認します。



- 再度ハンドルを開き水の出ることを確認します。

#### 電解水素水pH濃度の設定

- ① 専用水栓の電解水素水スイッチを押し、レベル1が点灯していることを確認の後、専用水栓の給止水ハンドルを回し本体に給水してください。レベル1が点灯していないときは、レベル1が点灯するまで電解水素水スイッチを押してください。押す度に1→2→3→4→1...と変わります。
- ② 付属の専用カップに電解水素水を8分目まで入れてください。そこへpH測定液を1滴落してください。
- ③ pH測定液により変色した電解水素水pH濃度の確認は付属のPH比色紙表と比べてください。PH比色紙表の9.0~10.0の色の範囲であることを確認してください。範囲外の場合は、プラチナ美ウォーター アンダーシンク取扱説明書 P.17「電解水素水pH濃度の調整方法」の手順で調整をしてください。
- ④ 以上の確認が済みましたら、専用水栓の給止水ハンドルを回して給水を止めてください。止水後、何もしないで5秒間経過すると表示ランプが消灯します。

